

令和元年度 第2回看護師職能集会報告書

- 日 時 : 令和元年12月3日(土) 9:30~16:00
- 場 所 : 岡山県看護会館 4階マスカットホール
- 参加者 : 73名(うち職能委員11名)

令和元年12月3日(火)岡山県看護協会で、第3回看護師職能集会「集まれ!看護師長」を開催し、62名の方が参加されました。

午前は、川崎医療大学総合医療センター山田佐登美先生による講演「地域包括ケア時代における看護のアイデンティティとリーダーシップ」でした。先生の力強さやユーモアを交え、下記の内容でお話しをされました。

- 社会や制度等医療や看護をとりまく環境は、どのように変化しているのか
- 看護管理者の果たすべき役割はなにか
- 地域包括ケアシステムにおいて、看護はリーダーシップをとれるのか
- 中間管理職の苦悩と自分への思いやりについて

参加者の感想は、「明日から頑張れる気持ちになれた」「初めて管理職を主体とする研修に参加し、良かった」とあり、楽しみにして来られた方も多かったようです。

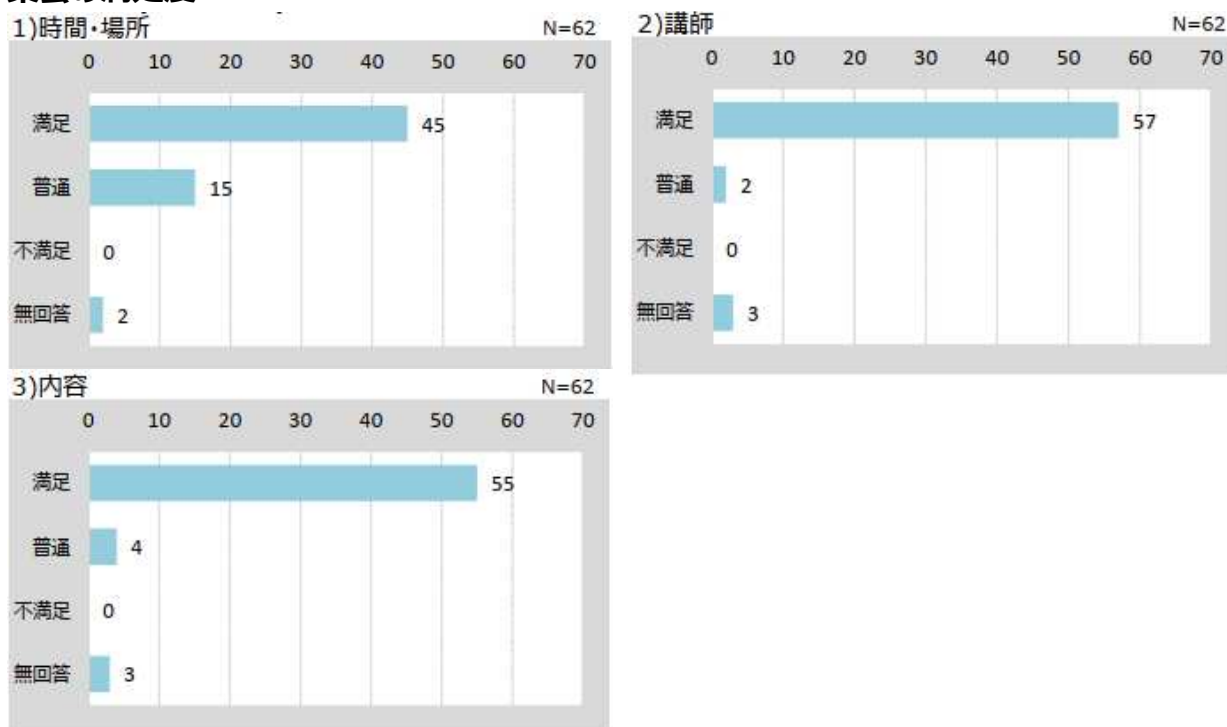
午後は、11グループにわかれグループワークを行いました。テーマは、「看護師長のやりがいて、何!~経験を振り返り気づくことの大切さ~」です。自分の経験の中で印象深い出来事や成功したことについての情報交換や意見交換をしました。7グループに発表をして頂き、山田先生に助言を頂きました。現場で頑張っている師長さんや主任さん達と交流の場がもて、良い機会になったようです。

これからも、看護師職能委員会は課題発見と意見集約の機能を果たし活動をしていきます。引き続き、よろしくお願い致します。



アンケート集計結果

■ 集会の満足度



■ 集会の感想

- ・初めて管理職を主体とする研修に参加した。悩みの共有やアイデアで元気をもらうことができ良かった。
- ・看護師長・副看護師長の立場からやりがいというのがあらためてわかった。日々の業務を振り返る場であったので明日からできること、長期目標をもってやっていくことを明確にできたのでよかった。
- ・他施設の実情や悩みが分ちあえて少し頑張れるかなと思えた。
- ・他の病院の管理職の方と話すことができ、自分たちの思いを共有でき、明日からの仕事へのモチベーションにつながった。山田先生の話は管理職としての自分の今後の行動に変化を与える話だった。
- ・スタッフに任せることの大切さ、感謝の気持ちを忘れず口に出す。
- ・同じ立場の人と話し合えて、悩みは一緒だと思った。力がわいたグループワークとなった。
- ・管理職としての悩みはそれぞれあり、共有できたことが承認されたことで心が軽くなった。山田先生に自施設の院長や事務長に講演していただきたいという気持ちになった。
- ・山田先生の話がとてもわかりやすく、国の政策が自分の中へスツと入り込んできた。午後のグループワークでは抱えている問題を共有し良い取り組みを聞いて良かった。
- ・他施設の方と話ができ、病院では話せない悩みも共有することができた。またこのような場があったらいいと思った。
- ・師長の悩みを聞くことができ良かった。自分自身の心が軽くなった。
- ・自施設の機能のあり方を考えることができた。
- ・グループワークで具体的な対策など聞いて良かった。
- ・他施設の方と関わることができ、意見交換は明日からの糧になった。
- ・多くの情報がもらえた。今後につなげていきたい。
- ・ファシリテーターの存在が助かった。

■ 要望

- ・PM からの机配置の説明をもう少し的確に行っていただけると時間がムダにならないかと思う。
- ・グループワークの席が近すぎたので話が聞こえない場面があった。
- ・10 時スタートがありがたい。